

危険箇所マップ

児童の登下校時の危険箇所とその対策

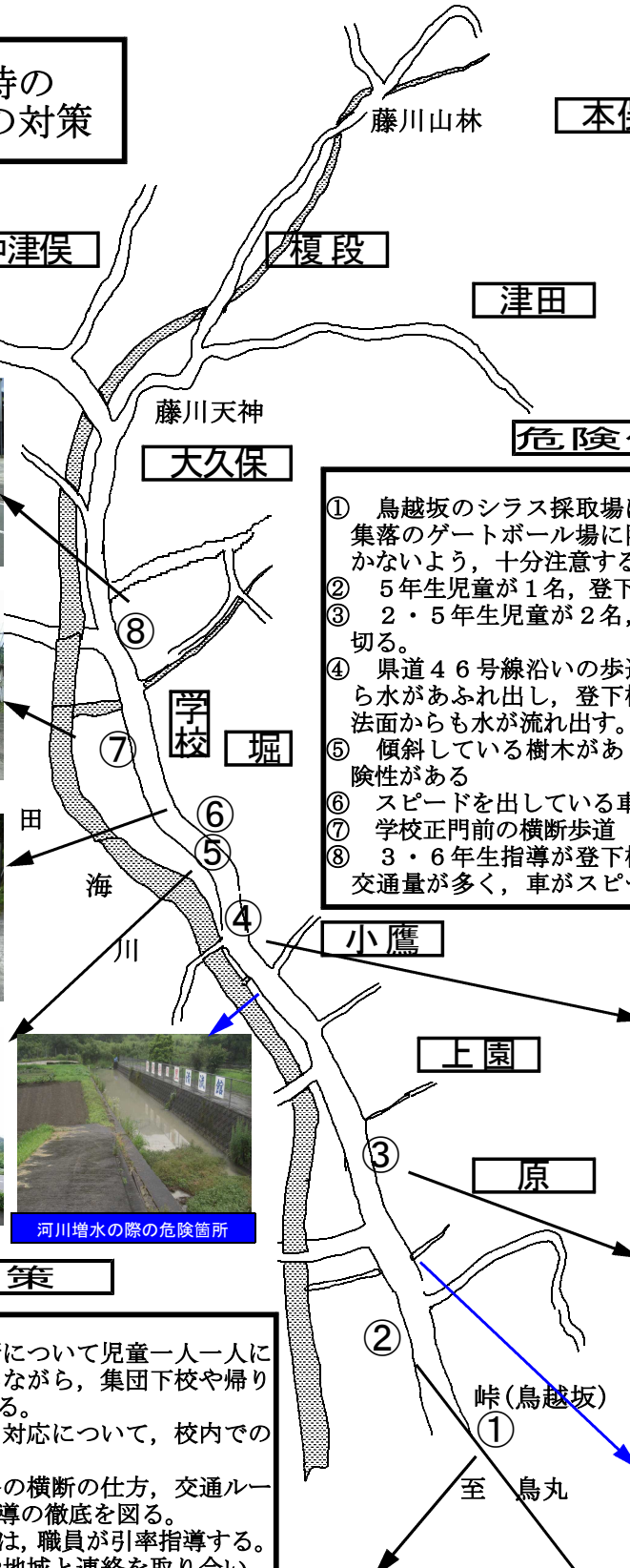
至 阿久根

中津俣

榎段

本俣

津田



危険箇所

- ① 鳥越坂のシラス採取場は、子ども会育成会の花壇や集落のゲートボール場に隣接している。採取場に近付かないよう、十分注意する必要がある。
- ② 5年生児童が1名、登下校で県道46号線を横切る。
- ③ 2・5年生児童が2名、登下校で県道46号線を横切る。
- ④ 県道46号線沿いの歩道が、強い雨の後は、側溝から水があふれ出し、登下校が危険な状態になる。崖の法面からも水が流れ出す。
- ⑤ 傾斜している樹木があり、強風によって倒木する危険性がある
- ⑥ スピードを出している車が多い。事故等も多い。
- ⑦ 学校正門前の横断歩道
- ⑧ 3・6年生指導が登下校で県道46号線を横切る。交通量が多く、車がスピードを出して走行している。

対策

- ア 崖崩れ、増水危険箇所について児童一人一人に認識させ、場所を明示しながら、集団下校や帰りの会等で指導の徹底を図る。
- イ 不審車両や不審車への対応について、校内での訓練や指導を徹底する。
- ウ 自転車の乗り方、道路の横断の仕方、交通ルールの遵守等について、指導の徹底を図る。
- エ 悪天候や強い地震の際は、職員が引率指導する。
- オ 緊急の場合は、家庭や地域と連絡を取り合い、児童の安全確保を図る。
- カ 常時校区内を見回り、常に危険箇所を確認し、児童の安全指導にあたる。
- キ 日頃の交通安全指導の徹底と鳥丸駐在所や薩摩川内警察署との連携を推進していく。
- ク 田海川については、全域遊泳禁止とする。子どもたちだけで、魚釣り、川遊びをしてはいけない。浅瀬で泳がせたり、遊ばせたりする場合は、保護者監視が必要である。



河川増水の際の危険箇所

河川増水の際の危険箇所